

## 第26回全京都障害者総合スポーツ大会開催要綱

### 1 目的

本大会は、昭和56年「国際障害者年」を記念して、第1回大会を開催して以来、障害のある人々のための総合的なスポーツ大会として、毎年継続して実施するものである。

特に、昭和63年10月に行われた第24回全国身体障害者スポーツ大会（愛とふれあいの京都大会）の成功を基礎に、障害のある人々が、スポーツを通じて健康及び体力の保持増進を図り、明朗で積極的な性格を養うとともに自立と社会参加を目指し、障害のある人々相互に、また障害のない人々との連帯を深めることを目的に開催する。

あわせて、この大会を通じて地域における障害者スポーツのリーダーの養成を図り、スポーツの日常化とスポーツ活動に参加する層の拡大を図り、「国際障害者年10年」の歩みで培った「完全参加と平等」の理念の実現に寄与しようとするものである。

なお、卓球、水泳、陸上競技、アーチェリーの各大会においては、次年度の全国障害者スポーツ大会、また、陸上競技大会（5,000m競走車いす使用者）においては、全国車いす駅伝競走大会の京都府、市、選手の選考会を兼ねて行う。

### 2 主 催

京都障害者スポーツ振興会、  
京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、  
京都府身体障害者団体連合会、（社）京都市身体障害者団体連合会、  
(社)京都手をつなぐ育成会、(財)京都新聞社会福祉事業団

### 3 後 援

(福)京都府社会福祉協議会、(福)京都市社会福祉協議会、  
(財)京都府体育協会、(財)京都市体育協会、  
(財)京都市障害者スポーツ協会、国際ソロプチミスト京都一東山、  
日本赤十字社京都府支部、京都新聞社、KBS京都、(社)京都ボランティア協会

4 主 管・運営協力  
京都卓球協会  
京都水泳協会  
京都陸上競技協会  
京都府アーチェリー連盟  
京都障害者スポーツ振興会

5 大会役員  
○名誉会長 京都府知事  
○名誉副会長 京都市長  
京都府身体障害者団体連合会会长  
京都市身体障害者団体連合会会长  
京都手をつなぐ育成会会长  
京都新聞社会福祉事業団理事長  
○会長 京都障害者スポーツ振興会会长  
○副会長 京都府教育委員会委員長  
京都市教育委員会委員長  
○その他 顧問、参与、委員を置く。

6 競技種目 卓球バレー、卓球、水泳、陸上競技、アーチェリー

7 日 程  
卓球バレー大会 平成18年6月18日(日) 京都府立体育館  
卓球大会 平成18年7月16日(日) 京都市障害者スポーツセンター  
水泳大会 平成18年8月27日(日) 京都市障害者スポーツセンター  
陸上競技大会 平成18年9月18日(祝・月) 京都市西京極総合運動公園  
アーチェリー大会 平成18年10月1日(日) 南丹市日吉町 胡麻総合運動広場

### 8 その他の

- ①参加資格、競技運営その他詳細については、別に実施要項でこれを定める。
- ②全国障害者スポーツ大会の選手選考にあたっては、開催基準要綱が改正され、出場回数の制限はなくなりましたが、より多くの人に出場の機会がもてるよう従来どおり、過去に出場経験のない人を優先する。